

前橋市中期財政収支見通し(令和9年度～13年度)

令和8年5月 未来創造部 政策推進課、財務部 財政課

背景

今後、少子高齢化に伴う社会保障関係経費の増加や大型の投資的事業が予定されており、厳しい財政状況が想定されます。

中期的な視点を持って持続可能な財政運営を行うため、本市の財政収支の見通しを推計しました。

推計の考え方

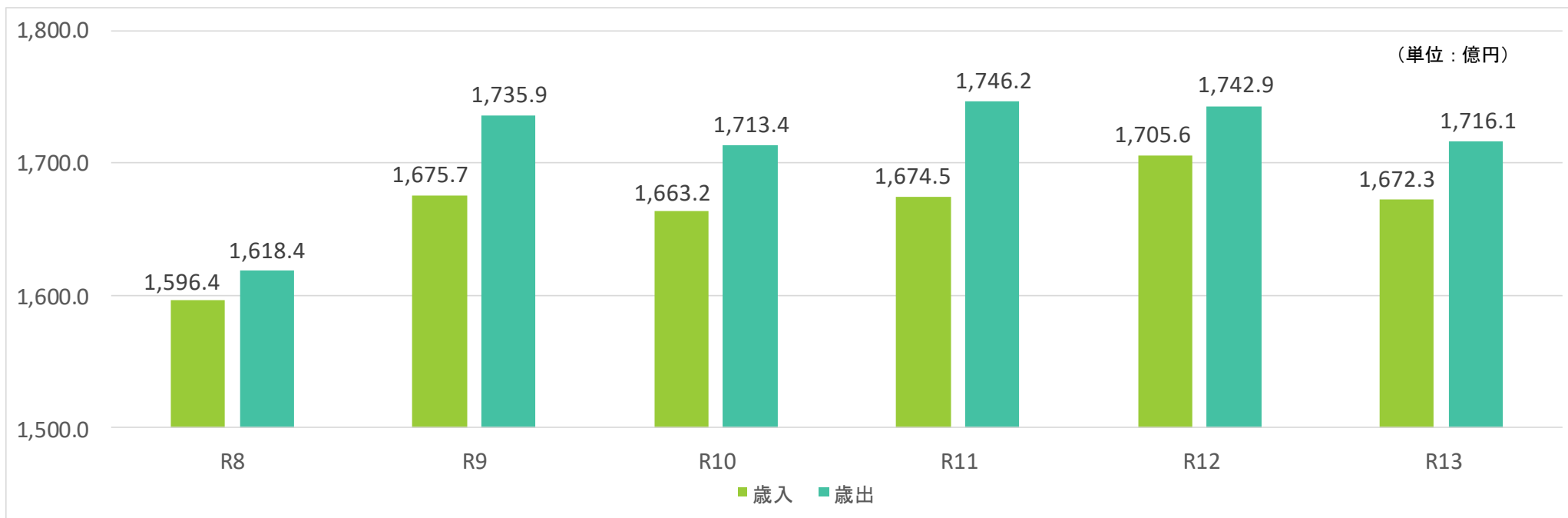
主な歳入

| | |
|----------|--------------------------------|
| 市税、普通交付税 | 過去の実績や、給与所得などの増加傾向を加味して推計しました。 |
| 国庫補助金、市債 | 今後見込まれる事業費を基に推計しました。 |

主な歳出

| | |
|-----------|---------------------------------------|
| 扶 助 費 | 社会保障関係経費の増加傾向を加味して推計しました。 |
| 投 資 的 経 費 | 継続している事業に、今後見込まれる大型の投資的事業を加味して推計しました。 |
| そ の 他 経 費 | 委託料や補助金などの経費を過去の実績から推計しました。 |

一般会計（歳入・歳出）の見通し



※R8：当初予算額、R9～R13：推計値

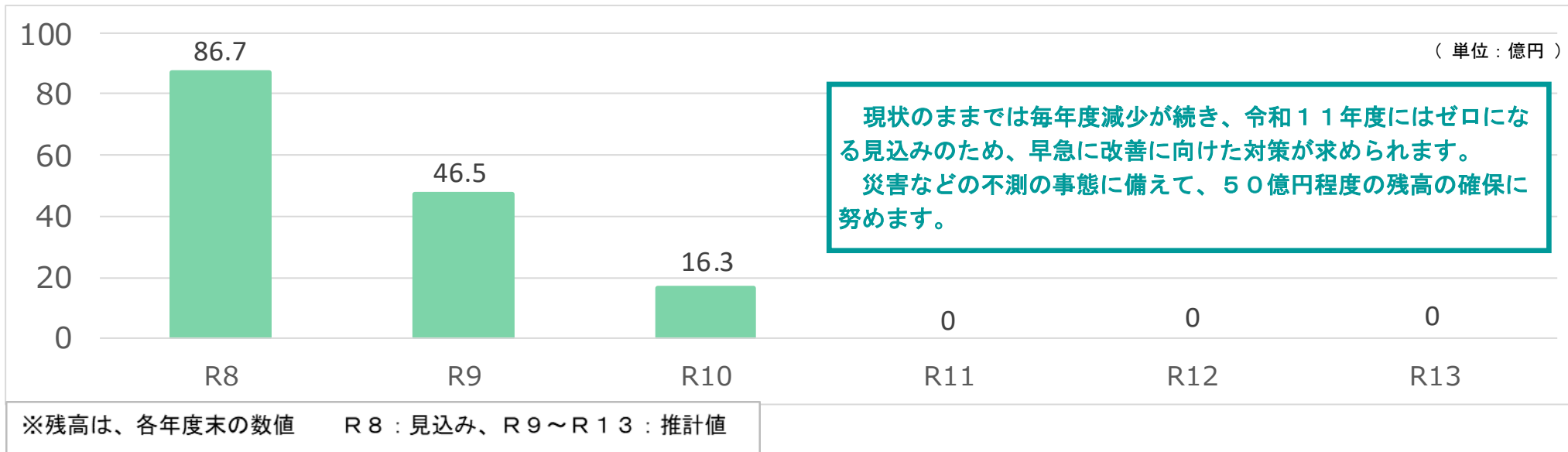
※令和8年度の歳入歳出差引の不足額（22億円）は、財政調整基金を充てています。

【歳入】 市税や普通交付税が増加するとともに、大型の投資的事業の本格化に伴い国や県からの補助金や市債も増加するため、緩やかに増加する見込みです。

【歳出】 少子高齢化に伴う社会保障関係経費の増加や、千代田町中心拠点地区市街地再開発、群馬総社駅西口開設などの大型の投資的事業のほか、令和11年度には国民スポーツ大会が予定されており、令和9年度以降大幅に増加する見込みです。

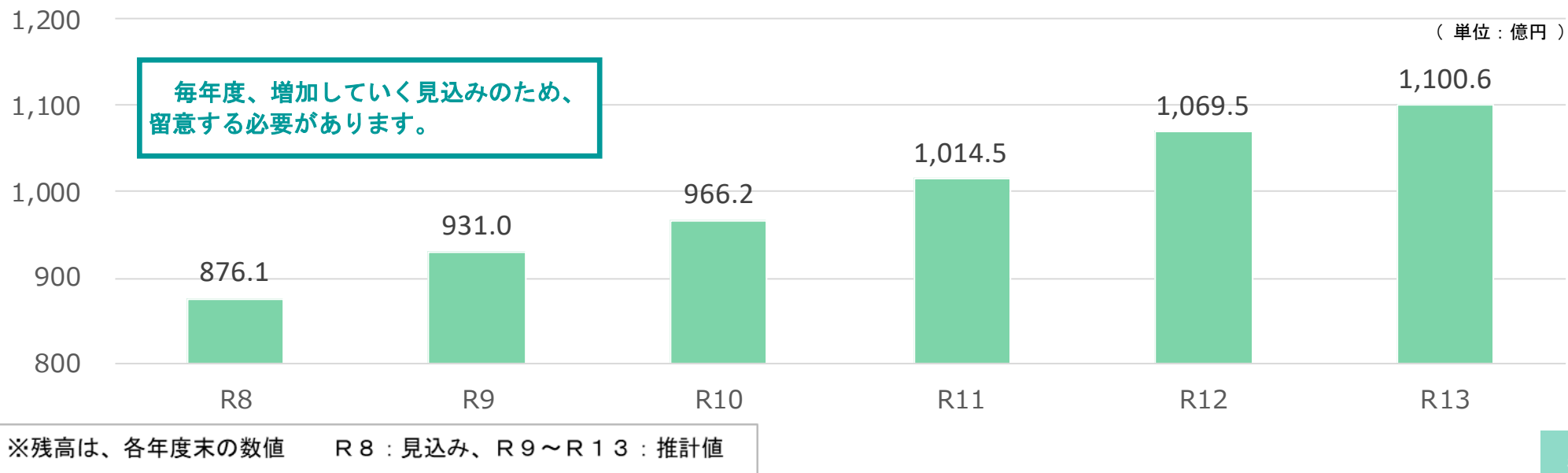
【歳入歳出差引額】 毎年度、歳出が歳入を上回り財源不足の状況が続くため、財政調整基金を取り崩して予算編成を行う必要があります。財政調整基金の残高に留意した財政運営が求められます。

財政調整基金残高の推移



市債残高（通常債）の推移

※通常債：学校、道路、公園整備などの整備のために発行する市債

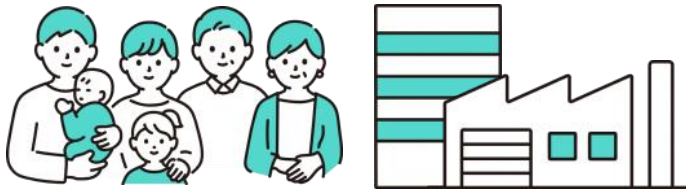


今後の市政運営

— 暮らしの安定と地域経済の好循環を目指して —

1 政策と事業の整合

(暮らしの安定と地域経済の好循環)



2 アセットマネジメント

(長寿命化・総量縮減・利活用推進・価値育成)



好循環

支え合う前橋

3

財政状況の改善

(予算編成における枠配分方式の運用)



4

職員意識改革

(マネジメント・情報共有の刷新)



試算のとおり、本市の財政は、社会保障関係経費の増加に加え、千代田町中心拠点地区の市街地再開発、群馬総社駅の西口開設といった大型の投資的事業、さらに予定されている国民スポーツ大会の開催などにより、令和9年度以降、現行の財源だけでは不足が生じる見通しとなっています。また、物価高騰などの不確実な要素もあり、財政運営には工夫が求められます。

このため、本市では、分野を横断して対話を重ねながら重点を見極め、施策の選択と集中を進めるとともに、予算編成を工夫することで、将来を見据えた無理のない支出と、安定した財源の確保に取り組めます。

持続可能な市政運営のためには、企業誘致により税収を増加させるなど、人や企業、投資を呼び込むまちづくりを進め、地域経済の好循環を生み出していくことも重要です。健全な財政運営に配慮しながら前橋の魅力を高め、将来にわたって安心して暮らし続けられる「暮らしの安定と地域経済の好循環」を目指していきます。